

ヒノキの箸

西川材ヒノキの間伐材を上手に削って、自分だけのマイ箸を作りましょう。間伐材を利用するので、環境学習にも最適です。



対象	実施時期	定員	所要時間
4年生以上	通年	10~120人	2時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
軍手・持ち帰り用のビニル袋	ナイフ・当て布・カラーペン・ゴミ入れバケツ・お米で作ったワックス	箸木片・紙やすり（細目）	

ねらい

- ・刃物の正しい使い方を学ぶ。
- ・想像力・表現力を高める。
- ・西川材間伐材の活用。
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、道具を準備していただきます。
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください。

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
- ② ナイフ（右利き用 左利き用 人数分）、材料（人数分）、当て布（人数分）、紙やすり（人数分）、カラーペン ※人数や同時に使う団体数によっては、前のテーブルに用意します。

実施

- ① ナイフで木の角（かど）を削ります。
- ② 2本のバランスを見ながら削ります。※先が細くなりすぎないように注意しましょう。
- ③ ナイフで削るのが難しい箇所は、紙やすりで削りましょう。
- ④ だいたいの形ができあがったら、紙やすりで丁寧に仕上げてください。
- ⑤ 必要に応じて名前などを書きます。
- ⑥ 布で「お米で作ったワックス」を薄く塗ります。

※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。

片付け

- ① 道具の数を数えます。
- ② 道具類は入っていたケースに入れ、最初にあった状態に戻します。
- ③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。
- ⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。個数の確認は、書面でも行います。

まとめ

- ・ふりかえり。

留意点

- ① 刃物を使用します。正しい使い方を守ってケガの無いよう活動しましょう。
- ② **事前に、ナイフを使っての削り方に慣れておくと、作業がスムーズです。**
- ③ 材料を押さえる手は軍手を装着し、刃物は素手で持つようにしましょう。
- ④ 隣の人との距離を70cm以上はなし、刃物が当たらないようにしましょう。
- ⑤ 細くなりすぎると、強度が落ちてしまいます。少し太いくらいの方が使い易く、折れにくいです。
- ⑥ 口に入れるものなので、ささくれやでっぱりがない、滑らかな表面になるように削るといいです。
- ⑦ 持ち帰って家庭で使っていただくと、ワックスが取れてくることもあります。その場合は、オリーブオイルやサラダオイルなどを薄く塗ってください。

SDGs への取組

- ・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- ・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。

